



昨年10月9日・10日に福岡県北九州市で『第31回 全国病児保育研究大会』が開催されました。「預けて良かった～伝えよう病児保育の魅力を～」のテーマで行われ、めぐみの保育士も講演の視聴や、以下のワークショップにWebより参加しました。

- ・「治療をツナグ★嫌がる子どもへの服薬支援のヒント」
- ・「コロナが社会に与える影響とストレス」
- ・「小学生への関わり方とあそび」
- ・「乳幼児・小児に対する緊急時の対応『命を救うために必要な応急手当』」

参加したテーマの中からご家庭で苦労されているとよく伺う服薬支援についてご紹介します。めぐみでは、飲めたことがお子さんの自信になるよう年齢に応じた言葉がけをして与えています。また、お薬を与えるタイミングも重要です。ぐずっている時などは避け、一口ずつでも体に入るよう時間をかけて与えています。



市販ゼリーとお薬ゼリーの違い

- ・市販ゼリーはゼリーから水分が分かれる離水が起こる場合が多く、むせたり、お薬を少量のゼリーに混ぜにくい場合がある。
- ・服薬専用ゼリーは薬の溶け方や吸収に問題がないように工夫されています。抗生剤によっては酸性のゼリーで苦みが出る場合もあり、チョコレート味の専用ゼリーを選ぶことができます。

このワークショップの主催の方よりいただいた資料です。ご家庭での服薬の際にお役立て下さい。

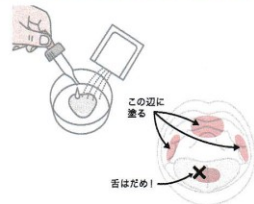
引用文献 株式会社 薬心堂



粉薬の飲ませ方 ＜乳児編＞

練り団子をつくる

- ① 小皿に粉薬をあげ、1滴ずつ水を加えて、ペースト状(団子状)に練ります。
- ② 手指をきれいに洗い、指先に練った薬を付けて、口の中(上あごや頬の内側)に塗りつけます。
- ③ 水を飲ませて、水と一緒に薬を飲み込ませてください。



少量の水に溶かす

- ① 小さな容器に粉薬をあげ、少しずつ水を加えて、シロップ状(液体)に溶かします。
- ② 溶かした薬をスポイトや哺乳びんの乳首を使って飲ませてください。スポイトは乳児の口の手前に入れると舌で出すので、なるべく口の奥に入れてください。
- ③ 口の中に薬が残らないように、水を飲ませましょう。



※ 哺乳びんの乳首を使う場合、穴が小さいと薬が飲みにくいことがあります。穴が少し大きい乳首を使用するとよいでしょう。

食べ物に混ぜる

- ① 粉薬に好みの食べ物を少量(スプーン1～2杯くらい)加えて食べさせます。
- ② 口の中に食べ物や薬が残らないように、水を飲ませましょう。

ジュース、スポーツドリンク、ゼリー、ヨーグルト、ジャムなどと混ぜると苦くなる薬もあるので注意!!

- 量が多くて飲みにくいときは、10分くらいあけて2回に分けて飲ませましょう。
- 砂糖などを加えて甘くしても大丈夫です。ただし下痢のときは乳製品、オレンジジュース、砂糖などはあまり混ぜないようにしてください。

2021年10月よりスタートした病児保育室のネット予約も利用された保護者の方より『わかりやすかった』『すぐ空きがあるかどうかわかり便利です』『移動中や夜遅くでも予約の手続きができてとても便利だと思います』と、たくさんのお声をいただいています。

もしもの時、スムーズに病児保育室をご利用になるためには事前に登録される事をおすすめしています。

- ① 事前に吉川市の電子申請をする(すでに申請している方は②へ)
 - ② 予約システムの登録をする
- 以上、初回の登録など不明な事がありましたらお気軽にお電話でお問い合わせください。

病児病後児保育室めぐみ
048-982-3381

